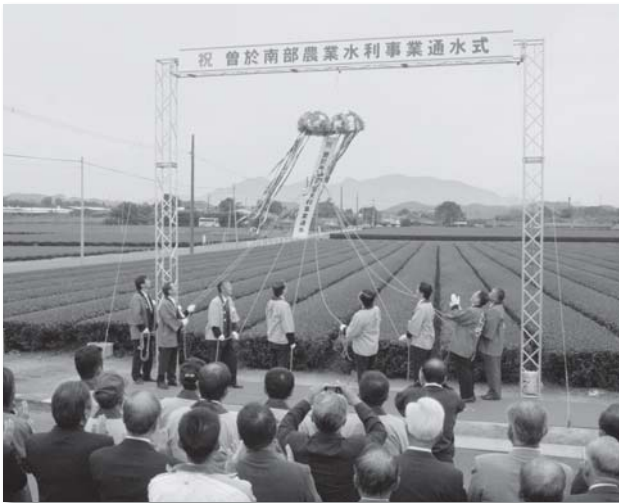


『ようやく完成！曾於南部畑かん通水式！』

10月30日(休)、志布志市有明町野神の茶畑において曾於南部農業水利事業（畑かん）通水式が開催されました。

この事業は、大崎町、志布志市、鹿屋市が一体となって取り組み、輝北ダムをはじめとする畑かん施設を整備し、2市1町の畑地にかんがい用水を供給する事を目的に、平成元年度から国営事業、平成10年度からは県営事業をそれぞれ導入し進めたもので、通水式当日は、地元農家をはじめ鹿児島県知事、九州農政局長、地元市町長など多くの関係者が出席し、完成を祝いました。



『生涯現役！元気パワーで海岸清掃！』

10月11日(土)、大崎町シルバー人材センターの会員による毎年恒例の益丸海岸清掃作業が行われました。この活動は平成8年にシルバー人材センターが設立されてから行われているボランティア活動で、今年で13回目を迎えました。

会員150人は菱田川方面と持留川方面の二手に分かれ約4キロの海岸に落ちているゴミを拾い集め、木切れや竹切れなどは焼却して処分しました。

作業後の会員さんたちの表情は、疲れた表情ひとつ見せず、澄みわたる青空のように清々しい表情をしていました。参加された会員の皆さん、本当にありがとうございました。

『分子構造から自然を探る！』

10月11日(土)、中央公民館において『木はなぜ空気をきれいにするの？分子構造から自然を探る』を、くにの松原ネイチャーゲームの会（代表；中山美幸氏）が県の森林環境税公募事業として実施しました。

指導には鹿児島大学松野教授や進藤研究員、鹿大生があたり、参加した43名の児童はニュースによく出てくる二酸化炭素（CO₂）や酸素（O₂）など日常生活で見ることのできない分子を模型を作りながら、木が葉っぱから取り入れた二酸化炭素と根から吸収した水、太陽光により光合成がおこなわれ酸素分子と炭素分子に分かれて空気をきれいにすることや、木は燃料や建築資材などに利用され土にかえり自然環境の中で循環することなどを学んでいました。

